

## CADEWA Real 2011 SP1 の更新内容

CADEWA Real 2011 SP1 (Service Pack 1) には、CADEWA Real 2011 発売以降の機能追加・機能改善が含まれています。

以下に CADEWA Real 2011 SP1 での機能追加・機能改善を記載いたします。

2011年8月

Copyright (C) 株式会社四電工

Copyright (C) 株式会社富士通四国システムズ

### 機能追加及び機能改善項目

#### 【レスポンス改善】

##### 1. 表示 【機能改善】

- プロポーショナル文字が多数存在する図面の表示速度を改善しました。

##### 2. ペーパーレイアウト 【機能改善】

- ビューポートの表示速度を改善しました。

##### 3. ケーブルラックコマンド 【機能改善】

- 子桁を詳細に作画するケーブルラック作画時のラバーを高速化しました。

## 【基本機能】

### 1. 表示 【機能改善】

- 背景色が白または黒以外でも、マウスグリッドの文字が見やすいように対応しました。

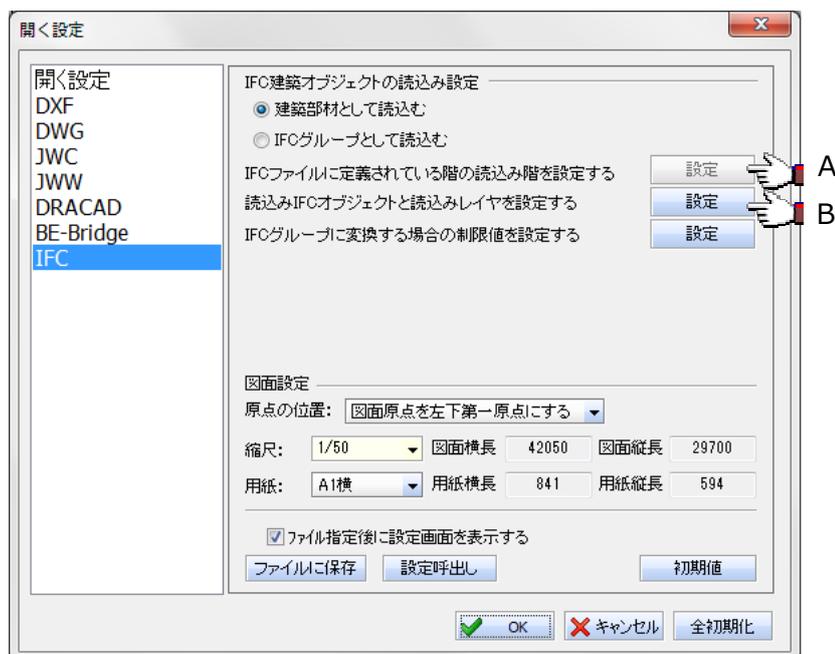


### 2. レイヤ分解コマンド 【機能改善】

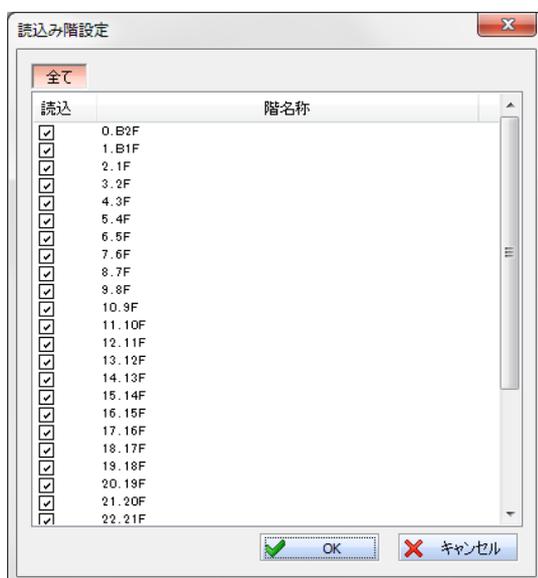
- フリーズレイヤの表示検出状態を変更する際、注意メッセージを表示するように改善しました。

### 3. 開く (IFC) コマンド 【機能追加・機能改善】

- Real で作画できない建築部材を、「IFC グループ」で読み込むように改善しました。
- 円弧壁および円弧壁上の建具を読み込むように改善しました。
- IFC ファイル変換時の使用メモリを削減しました。
- Autodesk Revit Architecture で作成した IFC データの変換率を向上しました。
- IFC ファイルを開く際の設定ダイアログを追加しました。



- ① IFC 建築オブジェクトを読み込む際、「建築部材として読み込む/IFC グループとして読み込む」の設定を追加しました。
- ② 読み込み対象階（フロアー）を指定する機能を追加しました。  
(※「A」ボタンを押すと、以下の設定ダイアログが開きます)



- ③ 読み込み対象 IFC オブジェクトの指定及び、読み込みレイヤを指定する機能を追加しました。  
(※「B」ボタンを押すと、以下の設定ダイアログが開きます)



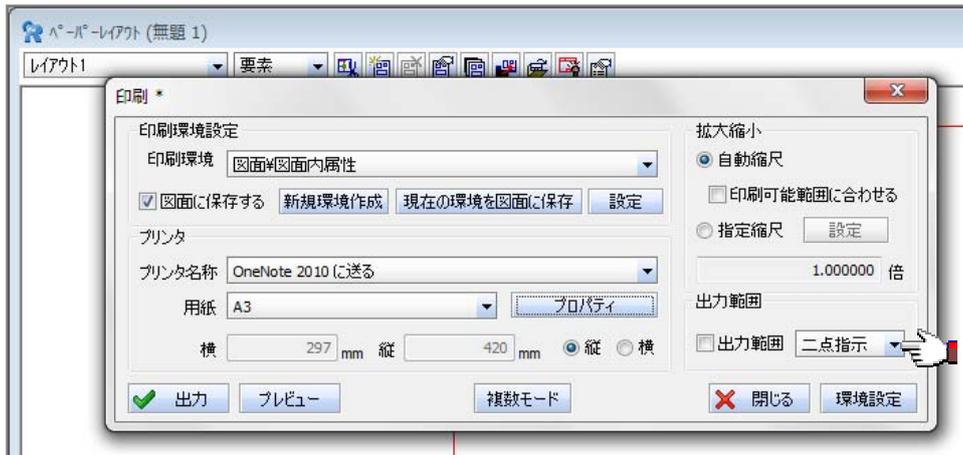
- ④ 読み込み時の図面原点設定として、「図面原点を維持（無変換）/図面原点を左下第一原点にする」を追加しました。
- ⑤ 変換後の縮尺，用紙サイズを指定する機能を追加しました。

#### 4. 名前を付けて保存 (DXF, DWG) コマンド [機能改善]

- ミリとインチ単位が混在するハッチング情報も正しく処理できるよう改善しました。

#### 5. 印刷コマンド [機能追加]

- ペーパーレイアウト上においても出力範囲を指定できるように機能を追加しました。

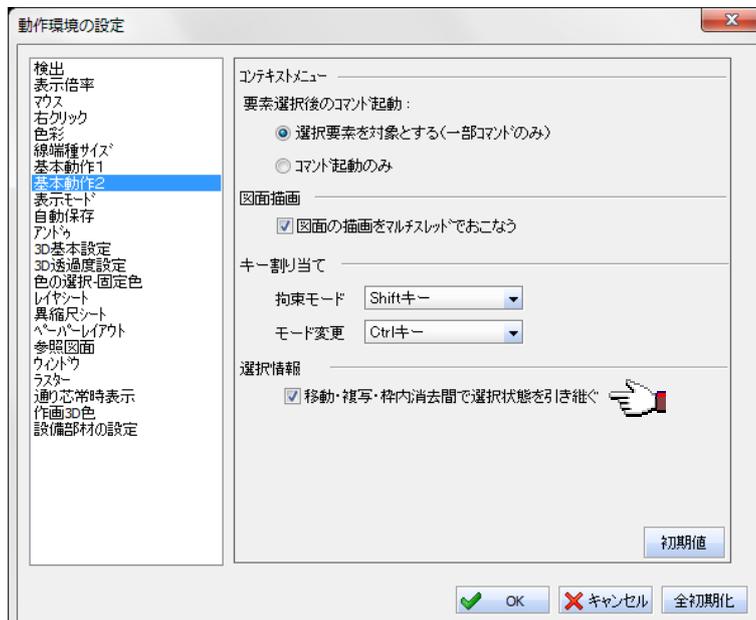


#### 6. 移動, 複写コマンド [機能改善]

- 図面間処理において、「拡縮」「平行+回転」、「拡縮+回転」モードで処理が行えるように改善しました。

#### 7. 移動, 複写, 枠内消去コマンド [機能追加]

- 選択状態を引き継ぐ, 引き継がないを、動作環境で指定する機能を追加しました。



## 8. 要素分解コマンド [機能改善]

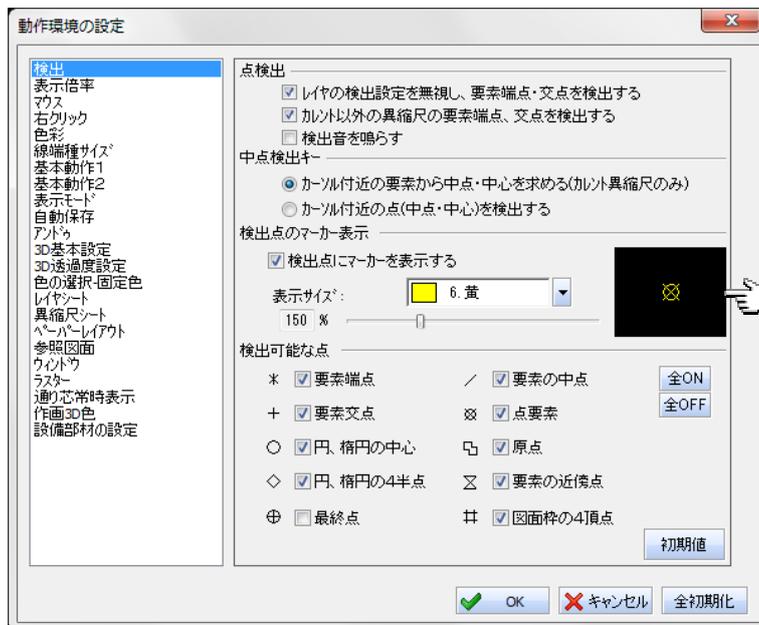
- ポリラインの境界を持つハッチングを分解できるように改善しました。

## 9. 要素毎の断面表示設定コマンド [機能改善]

- 風向記号や UP/DN 記号も処理対象とするように改善しました。

## 10. 動作環境の設定コマンド [機能改善]

- 検出点のマーカ表示サンプルの背景色を、現在のウィンドウの背景色に合わせるように改善しました。



## 【設備共通機能】

### 1. 干渉チェックコマンド 【機能追加】

- IFC ファイルを読込んだ時に作成される「IFC グループ」を、干渉チェックの対象部材に追加しました。

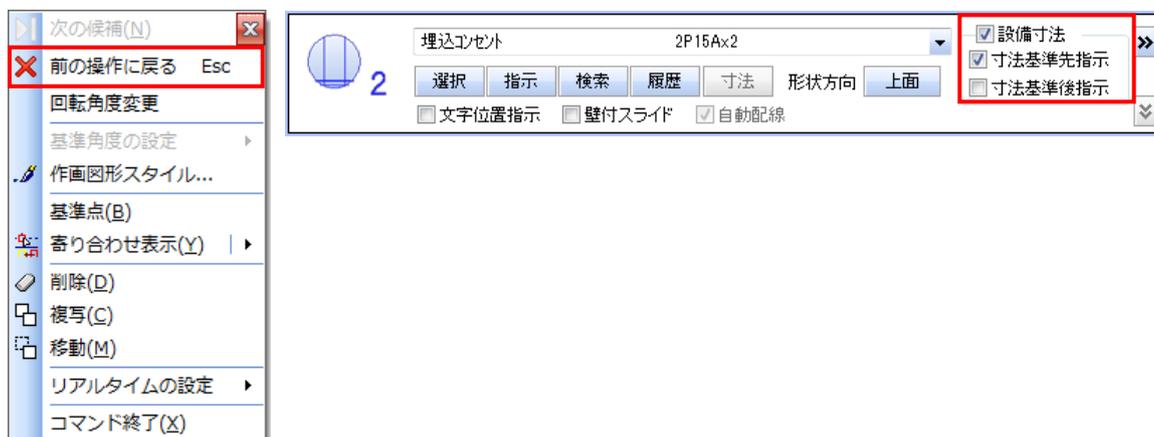
### 2. リアルタイム隠線 【機能改善】

- 「表示のみ」または「非表示」の異縮尺シートでは、リアルタイム隠線を行わないように改善しました。

## 【電気機能】

### 1. 機器・器具配置コマンド 【機能改善】

- 設備寸法作画時、壁線を指示して器具を配置した後に、「前の操作に戻る」又は「設備寸法の作画設定」を変更した場合、壁線指示直後の操作となるように改善しました。



- 設備寸法の前選択・後選択時に、連動するように改善しました。

## 2. シンボル登録コマンド [機能改善]

- 「属性の設定」ダイアログにおいて、シンボル文字高を小数点以下2桁で表示するように改善しました。



## 3. CG 配線作画コマンド [機能改善]

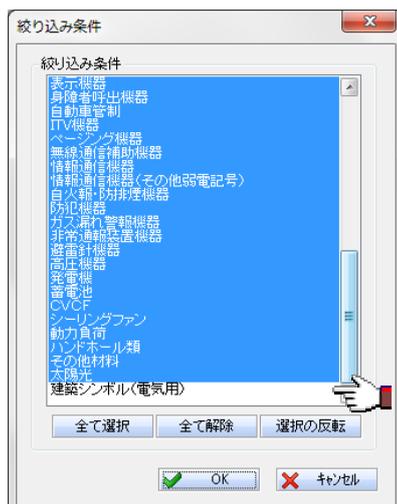
- 平面上で垂直配管を指示して自動接続できるように改善しました。
- 自動接続モードの「自動接続する配管を設定曲げ率で作画」がチェック ON の場合、S字配線で接続できない平行したルートに対して、自動接続できるように改善しました。

## 4. ルート編集コマンド [機能改善]

- インサート、吊ボルトを保持するパターンを追加しました。

## 5. 機器・器具凡列表コマンド [機能改善]

- 部材検索の絞り込み条件に「建築シンボル(電気用)」を追加しました。



### 6. 属性チェックコマンド [機能改善]

- CG 配線 (S 字・U 字・付属品), インサート, 吊ボルト, 鋼材をチェックできるように改善しました。

### 7. 材料集計コマンド [機能改善]

- CG 配線 (S 字・U 字・付属品), インサート, 吊ボルト, 鋼材を集計できるように改善しました。

リスト出力種別の選択

拾い出しデータファイル名: 電気材料集計.EPR  
 物件名称:  
 担当者名:  
 備考:  
 作成年月日: 2011/07/04

出力形式  
 帳票出力  EXCEL出力  CSV出力  CRAFT出力  CI-NET出力  
 配線長0.0出力  配線長0.0出力

出力種別  
 集計方法  設備種別  回路別  部屋名別  
 配線根拠出力

出力項目  
 出力部材  機器・器具  配線  スリーブ(防火区画材)  
 インサート・吊ボルト  鋼材

BOX自動発生  有り  無し

出力設定

[拾い出し集計表] 件名: \_\_\_\_\_

異縮尺の集計: \_\_\_\_\_ 2011/7/4

集計条件: 設備種別: 建築設備-建築-通り芯 異縮尺: 基準

品名	工事種別	合計	単位	テスト図面
鋼材 等辺山形鋼 25×25×3		1.6	m	1.6
鋼材 溝形鋼 75×40×5×7		1.6	m	1.6
鋼材 I形鋼 100×75×5×8		1.6	m	1.6
鋼材 H形鋼 100×50×5×7		1.5	m	1.5
鋼材 角形鋼管(正方形) 40×40×1.6		1.7	m	1.7
鋼材 平鋼(フラットバー) 4.5×25		1.8	m	1.8
鋼材 軽溝形鋼 19×12×12×1.6		1.9	m	1.9
鋼材 角形鋼管(長方形) 50×20×1.6		1.7	m	1.7
鋼材 軽山形鋼 30×30×3.2		2.0	m	2.0

設備種別: 電気設備-配管・配線-電力設備-電灯・コンセント設備 異縮尺: 基準

品名	工事種別	合計	単位	テスト図面
EM-CET100*	加工	3.1	m	3.1

設備種別: 電気設備-インサート-機器・器具用 異縮尺: 基準

品名	工事種別	合計	単位	テスト図面
インサートその他9		2.0	個	2.0

設備種別: 電気設備-インサート-その他-1 異縮尺: 基準

品名	工事種別	合計	単位	テスト図面
インサートその他9		2.0	個	2.0



【空調・衛生機能】

1. 機器・器具配置コマンド [機能改善]

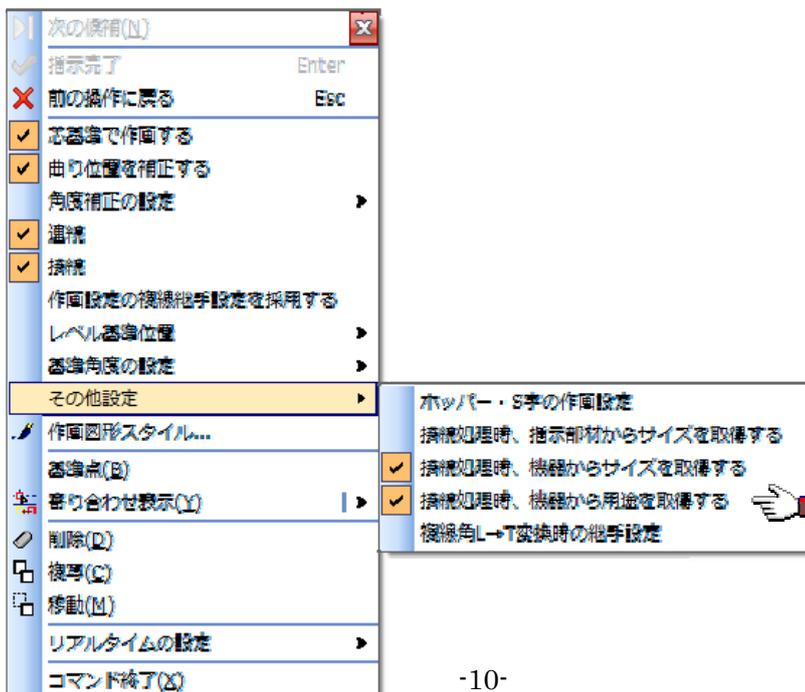
- 設備寸法作画時、壁線を指示して器具を配置した後に、「前の操作に戻る」又は「設備寸法の作画設定」を変更した場合、壁線指示直後の操作となるように改善しました。



- 設備寸法の先選択・後選択時に、連動するように改善しました。

2. ルート作画コマンド [機能追加]

- 接続処理で機器器具を指示した際、対象接続点から用途情報を取得する/しないを指定する機能を追加しました。

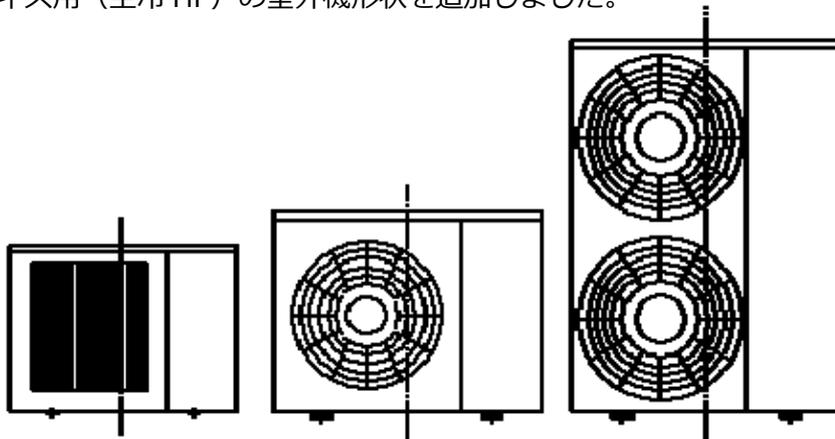


### 3. フレキコマンド [機能改善]

- 単線形状・複線形状を選択するダイアログで、ダンパやバルブと同様に、単線または複線のどちらか一方の形状を変更した際、もう一方の形状も対になる形状に変更するように改善しました。

### 4. 部材追加

- 【08】空調機-パッケージ型エアコン-PAC店舗・オフィス用（空冷冷専）、PAC店舗・オフィス用（空冷HP）の室外機形状を追加しました。



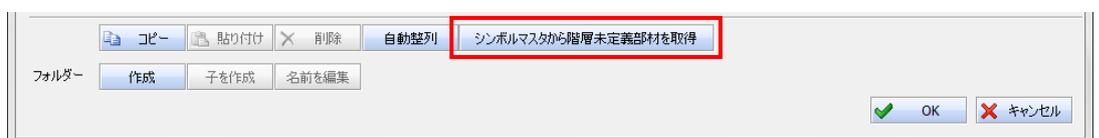
部材の追加には以下の操作が必要です。

- ① 「機器・器具配置」コマンドを起動します。
- ② コマンドダイアログの「選択」ボタンをクリックし、「部材選択」ダイアログを開きます。
- ③ 「編集モードへ」ボタンをクリックし、「選択モード」から「編集モード」に切り替えます。



- ④ 「シンボルマスタから階層未定義部材を取得」ボタンをクリックします。

追加された部材が「階層未定義部材」フォルダに表示されます。必要に応じて別フォルダに移動してください。



以上